



2026 SUPER FORMULA RACE REPORT

SUZUKA CIRCUIT

Rd.4 - 5

5.22[fri] - 24[sun]

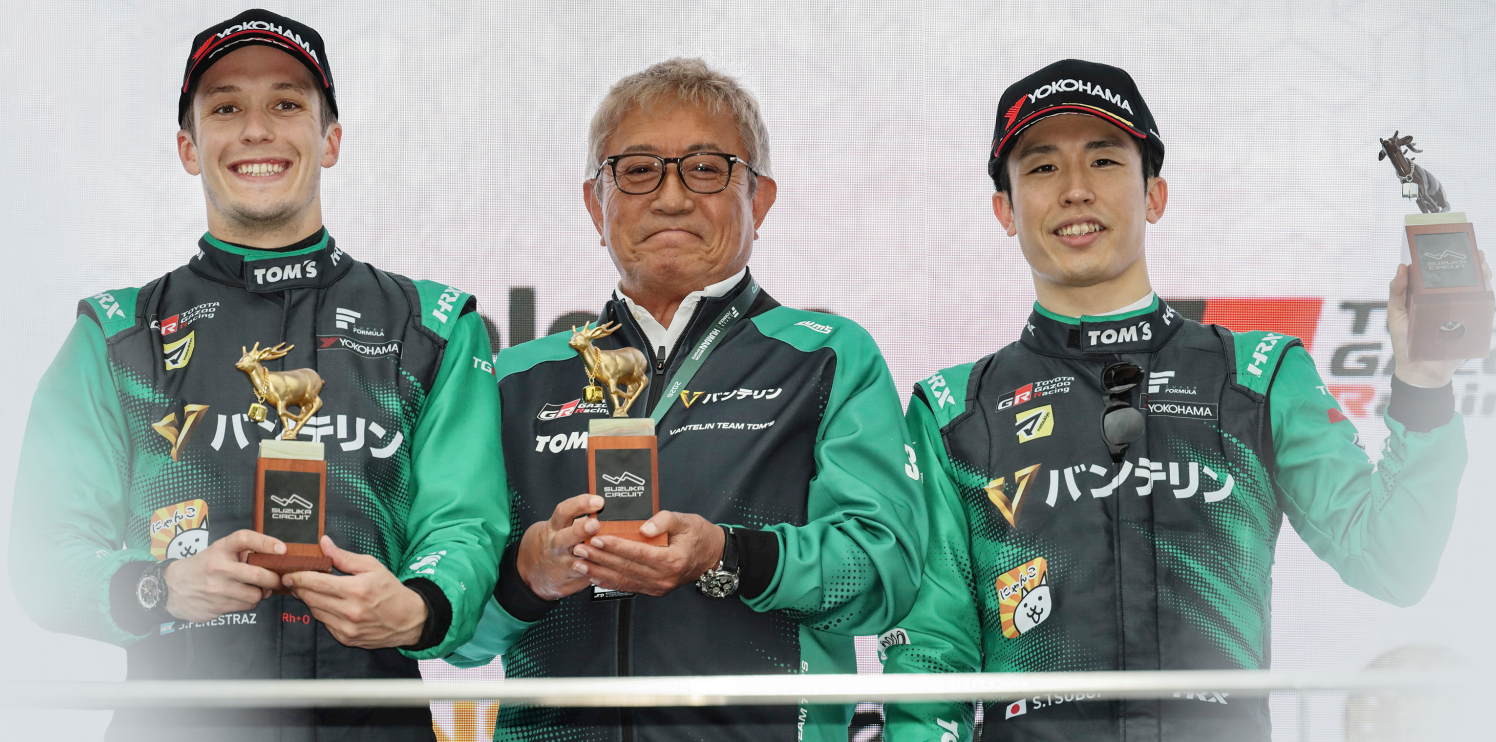
[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] **fr** 曇り **sat** 曇り一時雨 **sun** 晴れ

[spectators] 33,000人 (**fr** 4,000人 **sat** 13,000人 **sun** 16,000人)

Rd.1-2	MOBILITY RESORT MOTEGI	APR 3 - 5
Rd.3	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.4-5	SUZUKA CIRCUIT	MAY 22 - 24
Rd.6-7	FUJI SPEEDWAY	JUL 17 - 19
Rd.8	Sportsland SUGO	AUG 8 - 9
Rd.9-10	FUJI SPEEDWAY	OCT 9 - 11
Rd.11-12	SUZUKA CIRCUIT	NOV 20 - 22

Round4では天候を味方につけ、
サッシャ・フェネストラズが今季初優勝。
坪井翔も3位で、TOM'Sダブル表彰台



2026年NGK スパークプラグ全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round4・5が5月23日(土)・24日(日)に鈴鹿サーキットで行われた。VANTELIN TEAM TOM'Sは、Round4の予選では2台ともQ2に進出できなかったが、決勝レースでは雨が降るなかでスリックタイヤのままステイアウトする作戦が見事の中。サッシャ・フェネストラズが優勝、坪井翔も3位に入り、ダブル表彰台を獲得した。Round5でも粘り強い走りでも坪井が5位、フェネストラズが7位に入った。

RESULTS

Round 4
予選 - 位 | 決勝 3 位

Round 5
予選 5 位 | 決勝 5 位

Rd. 4		Rd. 5	
QUALIFYING 1			
P - (A Gr)	P6 (B Gr)		
1'45.835	1'37.991		
QUALIFYING 2			
-	P5/1'38.094		
RACE			
P3/1'39.718	P5/1'40.222		
Fastest Lap			
STANDINGS			
DRIVERS 6 位		TEAMS 2 位	

36 坪井 翔 | SHO TSUBOI
VANTELIN TEAM TOM'S

RESULTS

Round 4
予選 14 位 | 決勝 1 位

Round 5
予選 7 位 | 決勝 7 位

Rd. 4		Rd. 5	
QUALIFYING 1			
P7 (B Gr)	P6 (A Gr)		
1'38.221	1'38.264		
QUALIFYING 2			
-	P7/1'38.465		
RACE			
P1/1'39.923	P7/1'40.113		
STANDINGS			
DRIVERS 4 位		TEAMS 2 位	

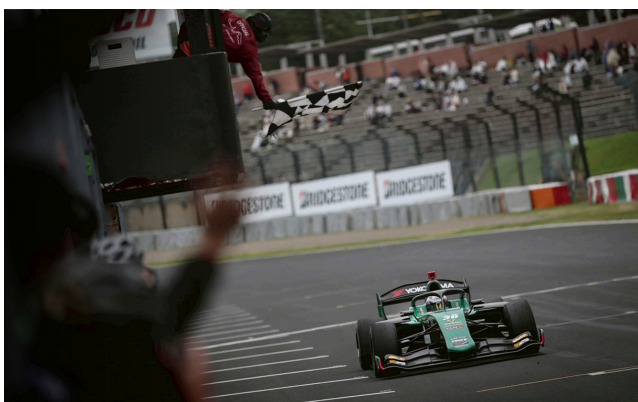
37 サッシャ・フェネストラズ | SACHA FENESTRAZ
VANTELIN TEAM TOM'S

Rd. 4

予選 天候:曇り | 気温:20℃ | 路面温度:22℃

決勝 天候:曇り時々雨 | 気温:20℃ | 路面温度:24℃

金曜日のフリー走行から手応えを掴んでいた2台。23日(土)のRound4予選で上位を狙った。坪井はQ1Aグループで出走。デグナー2つ目で走路外走行をしたため、ベストタイムが抹消され、Q1敗退となった。フェネストラズもQ1Bグループで果敢に攻めていったが、7番手に終わり、こちらもQ2に進むことができなかった。2台とも後方からのスタートとなった午後の決勝レースは、セーフティカーが2度も導入される波乱の展開に。残り10週のところで雨が降りはじめ、上位を走るライバルが次々とウェットタイヤへ交換するなか、TOM'Sの2台は逆転を狙ってピットインをせず、スリックタイヤのまま走り切ることを決断。これによりフェネストラズがトップに浮上。残り4周で雨も止み、フェネストラズは最後まで逃げ切って今季初優勝を果たした。坪井も終盤に2台を抜いて3位に浮上し、ダブル表彰台を手にした。

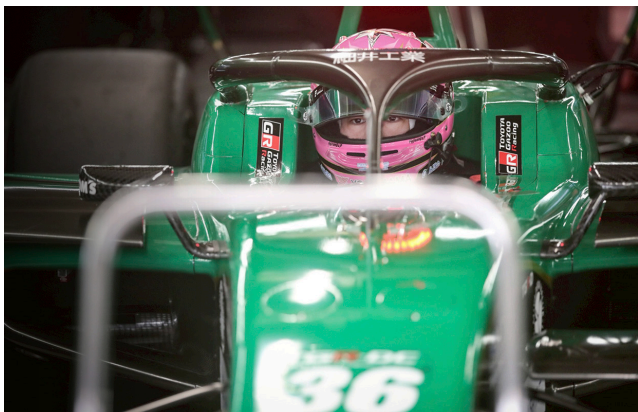


Rd. 5

予選 天候:晴れ | 気温:24℃ | 路面温度:33℃

決勝 天候:晴れ | 気温:25℃ | 路面温度:40℃

前日とは打って変わり晴天となったRound5。予選では坪井、フェネストラズともにQ2進出を果たした。Q2では4台が走路外走行の判定を受けたが、坪井はミスをすることなくタイムアタックを完遂し、5位に入った。フェネストラズも7位につけ、表彰台圏内を狙えるグリッドを獲得した。路面温度が40℃に達するなかで始まった決勝レース。序盤からペースの良さを感じていた坪井は、11周目にタイヤ交換を済ませ、好ペースで周回を重ね、トップ集団を追いかけた。逆転を目指し、果敢にオーバーテイクを仕掛けていったが、逆転はならず、最終的に5位となった。フェネストラズは後半の22周目にタイヤ交換する作戦で上位進出を目指したが、ライバルも手強く7位でフィニッシュ。満足のいく結果ではなかったが、2台揃ってポイントを獲得した。





Driver
坪井 翔

Round4は運が良かったというだけで、予選では走路外走行をした事実が残り、あまり良くはなかった1日でした。ただ、レースは何が起きるか分からないので、しっかり生き残ったことで、この結果を得られたと思います。Round5の作戦は良かったが、自分自身のペースが少し足りなかったため、優勝争いには絡めませんでした。ただ、鈴鹿でのパフォーマンスは改善できたと思いますし、ライバルとの差が縮まったので、次戦で巻き返します。



Driver
サッシャ・フェネストラズ

昨年はレースが途中終了での優勝でしたが、今回はしっかり戦い切ったので嬉しいです。コンディションが難しく、とてもハードなレースでした。チームからは、コース上に留まるようにと指示があり、それを素直に受け入れたおかげで優勝できました。Round5はペースがそこまで良くなく、難しいレースになりました。今はチャンピオンシップのことを考えるよりも、目の前のレースに集中して、さらに勝利を重ねていくことが重要だと思っています。引き続きベストを尽くしていきたいと思っています。



Team Principal
館 信秀

Round4は予選を終えた時は本当に残念で仕方がなかったのですが、本当に運に恵まれました。決断の時間は限られていましたが、チームではステイアウトすると決まったので、それが良い方向に行きました。Round5はトップと比べるとペース的にはもうひとつ欲しかったところですが、2台ともポイントを獲れたので私としては嬉しいです。そして何よりモリゾウオーナー率いるROOKIE Racingが初優勝を飾ったことには「おめでとうございませう」と祝福したいです。

次戦は我々にとって相性の良い富士3連戦ですので、楽しみにしております。



Vバンテリン

PONOS

CCM
HONG KONG

GR TOYOTA
GAZOO
RACING

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

TGR-D

YOKOHAMA

Yc
Yichiu Group

AZAPA

Happiness in Your Life
広島トヨペット

citybiz

細井工業

OKANO
Express

S&D
TAMA GROUP

EDIFICE
CASIO

UNIVERSAL
LINK

豊通テック

BRIDE

ENKEI

ThreeBond

MOTUL

HRX

KRS